

国際ワークショップ

－我が国における高レベル放射性廃棄物地層処分の技術的信頼性について－
の開催について

1. 趣 旨

現在、原子力委員会原子力バックエンド対策専門部会では、核燃料サイクル開発機構の技術報告書「わが国における高レベル放射性廃棄物地層処分の技術的信頼性－地層処分研究開発第2次取りまとめ－」（以下「第2次取りまとめ」という。）に示された研究開発成果について評価を行っている。客観性かつ透明性をもった評価のためには、国内外の専門家から広く意見を聴取するとともに、相互に議論できる場を設けて意見交換を行うことが重要である。

このため、原子力委員会原子力バックエンド対策専門部会では、第2次取りまとめの研究開発成果に関し、国内外からの招聘者を交えて、幅広い観点から意見交換を行う標記ワークショップを開催し、第2次取りまとめの評価報告書の取りまとめに資する。

2. 開催時期及び場所

○平成12年8月8日（火） 11：00～17：50

9日(水) 10:00~18:00

○三田共用会議所講堂（東京都港区三田2-1-8）

JR「田町駅」から徒歩 20 分

都営地下鉄「三田駅」から徒歩 20 分（浅草線、三田線）

都営バス「二ノ橋」から徒歩5分（橋86、黒10、四92、反96、都06）



3. 参加予定者（敬称略）

①基調講演

- ・ 高原 須美子 セントラル野球連盟会長、元フィンランド大使
フォーラム・エネルギーを考える 代表
- ・ Peter Nygårds スウェーデン核燃料・放射性廃棄物管理会社社長

②パネリスト

- ・ Arnold Bonne 国際原子力機関 燃料サイクル部 廃棄物管理部長
- ・ Neil A. Chapman 英国、シェフィールド大学 地質学教授
- ・ Margaret S. Y. Chu 米国、サンディア国立研究所 廃棄物管理計画部門部長
- ・ Klaus Kühn ドイツ、クラウスタール工科大学 資源工学教授
- ・ Sören Norrby スウェーデン、原子力発電検査局 放射性廃棄物安全規制課長
- ・ Keith Nuttall カナダ原子力公社 ホワイトシェル研究所
廃棄物技術部門部長
- ・ Julia West 英国地質調査所 主任研究員
- ・ 青木 謙治 京都大学大学院工学研究科教授
- ・ 稲垣 八穂広 九州大学大学院工学研究院助教授
- ・ 佐藤 努 金沢大学大学院自然科学研究科助教授
- ・ 登坂 博行 東京大学大学院工学系研究科助教授
- ・ 新堀 雄一 東北大学大学院工学研究科助教授
- ・ 西垣 誠 岡山大学環境理工学部教授
- ・ 藤川 陽子 京都大学原子炉実験所助教授
- ・ 水谷 伸治郎 日本福祉大学情報科学部教授

地層処分研究開発協議会検討部会関係者（核燃料サイクル開発機構を含む）

- ・ 梅木 博之 核燃料サイクル開発機構 経営企画本部バックエンド推進部
地層処分研究計画グループリーダー
- ・ 北山 一美 電気事業連合会 H L W法人設立準備室部長
- ・ 楠瀬 勤一郎 通商産業省 工業技術院地質調査所 地震地質部
地震物性研究室室長
- ・ 栢山 修 東北大学大学院工学研究科助教授

③コーディネーター等

原子力委員会原子力バックエンド対策専門部会委員：

- ・ 小島 圭二 地圏空間研究所代表
- ・ 田中 知 東京大学大学院工学系研究科教授

地層処分研究開発第2次取りまとめ評価分科会委員：

- ・ 大橋 弘士 北海道大学大学院工学研究科教授
- ・ 鹿園 直建 慶應義塾大学理工学部教授
- ・ 妹尾 宗明 日本原子力研究所 安全管理室 放射性廃棄物対策推進室長

核燃料サイクル開発機構：

- ・ 増田 純男 核燃料サイクル開発機構 特任参事

④一般参加者

200名程度（抽選）

4. プログラム (予定)

8月8日 (火)

11:00~12:30

開会		
挨拶	熊谷 信昭	原子力委員会 原子力バックエンド対策専門部会部会長
基調講演	高原須美子	セントラル野球連盟会長、元フィンランド大使 フォーラム・エネルギーを考える 代表
	Peter Nygårds	スウェーデン核燃料・放射性廃棄物管理会社社長

14:00~15:30

- 「第2次取りまとめ」の紹介：増田純男 核燃料サイクル開発機構 特任参事
- 「第2次取りまとめ」評価報告書(案)の紹介：
小島 圭二 地層処分研究開発第2次取りまとめ評価分科会主査

15:50~17:50 セッションⅠ：我が国の地質環境

- パネルディスカッション
コーディネーター：鹿園 直建 地層処分研究開発第2次取りまとめ評価分科会委員
パネリスト：
 - ・Klaus Kühn ドイツ、クラウスタール工科大学 資源工学教授
 - ・Julia West 英国地質調査所 主任研究員
 - ・西垣 誠 岡山大学環境理工学部教授
 - ・水谷 伸治郎 日本福祉大学情報科学部教授
 - ・楠瀬 勤一郎 地層処分研究開発協議会検討部会構成員
通商産業省 工業技術院地質調査所
地震地質部 地震物性研究室室長

○会場一般参加者との質疑応答

8月9日 (水)

10:00~12:00 セッションⅡ：地層処分の工学技術

- パネルディスカッション
コーディネーター：妹尾 宗明 地層処分研究開発第2次取りまとめ評価分科会委員
パネリスト：
 - ・Arnold Bonne 国際原子力機関 燃料サイクル部 廃棄物管理部長
 - ・Keith Nuttall カナダ原子力公社 ホワイトシェル研究所
廃棄物技術部門部長
 - ・青木 謙治 京都大学大学院工学研究科教授
 - ・佐藤 努 金沢大学大学院自然科学研究科助教授
 - ・北山 一美 地層処分研究開発協議会検討部会構成員
電気事業連合会 HLW法人設立準備室部長

○会場一般参加者との質疑応答

13:20~15:20 セッションⅢ：地層処分システムの安全評価

- パネルディスカッション
コーディネーター：大橋 弘士 地層処分研究開発第2次取りまとめ評価分科会委員
パネリスト：
 - ・Neil A. Chapman 英国、シェフィールド大学 地質学教授
 - ・Margaret S.Y. Chu 米国、サテリア国立研究所 廃棄物管理計画部門部長
 - ・新堀 雄一 東北大学大学院工学研究科助教授
 - ・藤川 陽子 京都大学原子炉実験所助教授
 - ・朽山 修 地層処分研究開発協議会検討部会構成員
東北大学大学院工学研究科助教授

○会場一般参加者との質疑応答

15:50~17:40 セッションⅣ：総論

- パネルディスカッション
コーディネーター：田中 知 原子力バックエンド対策専門部会委員
パネリスト：
 - ・Klaus Kühn ドイツ、クラウスタール工科大学 資源工学教授
 - ・Sören Norrby スウェーデン原子力発電検査局 放射性廃棄物安全規制課長
 - ・稲垣 八穂広 九州大学大学院工学研究科助教授
 - ・登坂 博行 東京大学大学院工学系研究科助教授
 - ・梅木 博之 核燃料サイクル開発機構 経営企画本部バックエンド推進部
地層処分研究計画グループリーダー

○会場一般参加者との質疑応答

17:40~18:00 まとめ

閉会

国際ワークショップ
－我が国における高レベル放射性廃棄物地層処分の技術的信頼性について－
参加者の募集について

1. 趣旨

現在、原子力委員会原子力バックエンド対策専門部会では、核燃料サイクル開発機構の技術報告書「わが国における高レベル放射性廃棄物地層処分の技術的信頼性－地層処分研究開発第2次取りまとめ－」（以下「第2次取りまとめ」という。）に示された研究開発成果について評価を行っています。客観性かつ透明性をもった評価のためには、国内外の専門家から広く意見を聴取するとともに相互に議論できる場で意見交換を行うことが重要と考えております。

このため、原子力委員会原子力バックエンド対策専門部会では、第2次取りまとめの研究開発成果に関し、国内外からの招聘者を交えて、幅広い観点から意見交換を行う標記ワークショップを開催することとしました。

このたび、ワークショップに参加される方を200名程度募集いたします。なお、希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。

2. 応募方法

ワークショップへの参加を希望される方は、郵便番号、住所、氏名（ふりがなを付けてください）、年齢、性別、職業、電話番号を明記の上、往復はがき又は電子メール（テキスト形式、サブジェクトに「国際ワークショップ参加希望」と記入）にてお申し込みください。

あ て 先：〒100-8966 東京都千代田区霞が関 2-2-1

電子メールアドレス：backend@sta.go.jp

- 締切は、平成12年8月1日（火）必着とさせていただきます。
- 応募者への結果の通知は、返信はがき又は電子メールをもってかえさせていただきますので、電話等による確認はご遠慮ください。
- 本ワークショップの内容については、議事録等により複製・公開等させていただくこととなりますのであらかじめご了承ください。

事務局： 科学技術庁原子力局廃棄物政策課

国際ワークショップ参加者係

担 当： 松本、花室

〒100-8966 東京都千代田区霞が関 2-2-1

TEL.03-3581-5271（内 672） FAX.03-3581-1338

<記入要領>

1. はがき

(往信用表面)	(往信用裏面)
〒100-0004 国際ワークショップ 参加者係 行 科学技術庁 原子力局 廃棄物政策課内 東京都千代田区霞が関2丁目2番1号	●国際ワークショップ 参加希望 ●<u>氏名</u> 郵便番号・住所 年齢・性別 職業・電話番号

(返信用表面)	(返信用裏面)
ご自分の住所 ご自分の名前	(白紙)

国際ワークショップ

ー我が国における高レベル放射性廃棄物
地層処分の技術的信頼性についてー

日 時：平成12年8月8日（火）～9日（水）
場 所：三田共用会議所講堂（東京都港区三田2-1-8）
主 催：原子力委員会原子力バックエンド対策専門部会

現在、原子力委員会原子力バックエンド対策専門部会では、核燃料サイクル開発機構の技術報告書「わが国における高レベル放射性廃棄物地層処分の技術的信頼性ー地層処分研究開発第2次取りまとめー」に示された研究開発成果について評価を行っています。原子力バックエンド対策専門部会では、この研究開発成果に関し、国内外からの招聘者を交えて、幅広い観点から意見交換を行うため、ワークショップを開催します。

出席者：高原 須美子 氏（セントラル野球連盟会長、元フィンランド大使、
フォーラム・エネルギーを考える 代表）
Peter Nygårds 氏（スウェーデン核燃料・放射性廃棄物管理会社社長）
他

参加者募集

（200名程度）

応募〆切：8月1日（火）必着

ワークショップへの参加を希望される方は、

郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、年齢、性別、職業、電話番号
を明記の上、往復はがき又は電子メール（テキスト形式、サブジェクト
に「国際ワークショップ参加希望」と記入）にて以下のお申込み先宛お
申込みください。（希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。）

【お申込み先】

〒100-8966

東京都千代田区霞ヶ関2-2-1

科学技術庁原子力局廃棄物政策課 国際ワークショップ参加者係

E-Mail: backend@sta.go.jp